

鵜住居区復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ⑧予備日 議事要旨

記

■ 日時 12月21日（土）14時00分～16時00分

■ 場所 絆ハウス

■ 次第

1. 挨拶

鵜住居地区地権者連絡会 会長 古川愛明

釜石市復興推進本部 都市整備推進室長 前田達也

2. 住宅再建意向調査の結果について

- 昨年度の調査対象とした約5,000世帯から、住宅再建済みの世帯を除いた約4,200世帯を対象に行った。鵜住居地区では回収率は77.9%（12月4日現在）。
- 前回の調査に比べ、鵜住居地区で再建したいという世帯が増え472世帯。自力再建補助制度の拡充が要因と考えられる。
- 鵜住居地区で災害公営を希望する数は157世帯。
- 市全体でみると、災害公営住宅の入居希望者は変わらず、釜石東部地区の希望が多い。
- このアンケート結果の見直しを行いながら、計画に反映していく。

3. 鵜住居のまちづくりについて

【道路整備について】

- 復興まちづくりに合わせて、国道45号線の線形について、三陸国道と協議しながら計画してきた。国道の幅員は全体で17m、両側に3.5mの歩道を整備する計画となっている。
- 釜石遠野線は寺前交差点の改善、幅員12m両側2.5mの歩道の整備を行う。谷地地区を通り、鵜住居川と平行に鵜住居小中跡地まで繋がる計画。
- また、JR線と平行して谷地地区を通る道路を整備する。
- JR線を挟んだ谷地地区と新川原地区をむすぶ道路を整備する。線路の下でも4.5mの高さを確保し、大型車両が通れるような道路とする。
- 新神地区の道路は、区画整理事業で街区道路を整備する。常楽寺周辺は幅員6.5mで計画している。

【施設整備について】

- 鵜住神社付近の高台には鵜住居小・中学校の整備計画を進めている。標高約 15m の高台になることで、避難施設としての機能を持つ学校となる。準備工事として、今後木の伐採などを行っていく。
- 鵜住居駅前周辺には、約 2 ヘクタールの公共施設整備を計画している。人を集め、にぎわいを創出するという土地利用方針。追悼施設や体育館といった各施設の詳細な検討は今後行う。
- 駅南側には、市役所出張所や、公営住宅の整備を計画している。さらに南には、戸建ての災害公営住宅を計画している。換地計画の関係で、計画位置が多少変更になる場合があるがご了承いただきたい。
- 駅北東の街区には下水処理場を計画している。

【土地の買い取りについて】

- 買い取り対象としている土地について、12 月 10 日に買収価格のお知らせ文書を発送。1 月中から契約のお願いをしていく。
- 本来であれば直接面談にてお知らせする内容であるが、3 月の仮換地に向け時間が限られるため、電話や郵送で価格等のお知らせをしていることをお詫びする。
- お手紙での案内後、担当業者から電話で連絡をする。
- 担当業者の紹介。ランドコンサルタント、UR 都市機構。
市から説明された計画の骨格に基づき、換地設計を行っている。皆様の個々の土地がどのくらいの面積、どこに、どうなるか、個別に説明させていただく。工事は、本来仮換地指定後となるが、承諾をいただき、仮の盛り土をしている。本格的工事は 3 月以降にはなり、かさ上げ工事をしていく（UR 都市機構）
- 以前行った買い取り意向の調査結果を基に連絡をしているが、公共施設用地の確保も含むため、事業の為の面積等諸事情により、希望していない方にも連絡がある。

4. 市道箱崎半島線について

- ルートは、釜石側から来ると、やまざき機能訓練デイサービスホーム付近から山へ入り、根浜の高台移転エリア（前川旅館再建位置付近）に出る。終点は既存の鵜住居 2 号線に接続する。
- 前回（7 月）と変わった点は、区画整理事業に伴う道路と接続する部分の新川原連絡線。
- 測量・調査・設計の 26 年 3 月完了を目指している。用地買収、工事とともに根浜地区から進めており、順次鵜住居側の用地買収を行っていく。
通常であれば、用地買収が確定してから工事発注するが、半島への早急な道路整備のため、先行発注している。工事完了は 29 年 3 月末を目指している。

5. 意見交換について

鵜住居小学校、釜石東中学校は一貫校になるのか？校庭は別々になるのか？その辺を住民へしっかりと説明してほしい。

→ 一貫校ではなく、併設になります。一貫校というのは、小・中学校の9年間を通して教育を行うものですが、ここは今までどおり、小学校6年間と中学校3年間を分けてあります。

校庭は共同利用となるので狭くなり、別のグラウンドをまち協として要望しています。体育館は別々となります。もう少しで基本設計が出来るのでその後、詳細な説明をさせていただきます。

来年の入学者は9名だが計画の規模だと大きすぎるのでは？

→ 来年は少ないが次年度以降、戻ると予想しています。まち協としても戻ってもらう努力を行っていきます。

下水処理場の近くの宅地では、臭い等が心配だが大丈夫か？

→ 処理施設の周囲には、緑地による緩衝帯を設けます。また、最新技術の施設なので臭いも問題ありません。

箱崎半島線について、トライアスロンの際、旧鵜住居道路は通行止めになるので回遊性からも良い計画だと思う。根浜の何処に取り付くのか？

→ 北部電気のところの現道に取り付く計画となっています。

鵜住居保育園が田郷だと送り迎えが不便だが。

→ 新しい鵜住居幼稚園は認定こども園も検討してもらいたい。（鵜住居地区地権者連絡会）
併設が理想ですが、来る人が問題となります。

施設整備の際、駐車場をしっかりとつくってほしい。何をするにも車社会である。

→ 駅前に施設を集中させるので、その辺に駐車場を整備するよう考慮していきます。

ラグビー場はどうなるのか？

→ 財源の確保のため、国との協議を進めているところです。

津波注意報の際、国道は封鎖になるのか？老人等、車で避難出来るようなまちづくりが必要では？

→ その判断は警察が行うことになります。車による避難のあり方については、現在、車両避難指針を3月の策定に向けて検討中です。

どんなに広い道路を作っても、車避難の集中によって渋滞が懸念されるため、原則、徒歩避難をお願いします。

